

平成22年3月定例会報告

日程 3月1日～3月19日

3月定例会に提出される案件は、平成22年度の予算と平成21年度の補正予算が主なものであります。

予算額

・平成22年度一般会計当初予算額	4,491,000,000円
・ 〃 特別会計当初予算額	3,373,939,000円
・ 〃 水道事業会計当初予算額	597,503,000円

条例改正

・条例を廃止する条例（能勢町ふれあい農園）	1件	可決
-----------------------	----	----

当初予算

・平成22年度一般会計予算	1件	常任委員会付託	可決
・ 〃 特別会計予算	5件	総務民生常任委員会付託	可決
・ 〃 特別会計予算	2件	環境教育常任委員会付託	可決
・ 〃 水道事業会計予算	1件	〃	可決

請負契約の締結

・能勢町し尿処理施設建設工事請負契約の締結について	可決
---------------------------	----

損害賠償の額を定めること及び和解

・損害賠償の額を定めること及び和解について	可決
-----------------------	----

補正予算

・平成21年度一般会計補正予算	1件	可決
・平成21年度特別会計補正予算	6件	可決

平成二十一年度一般会計予算について

反対討論

子ども手当での財源確保のために「年少・特別扶養控除」の一部が廃止になり手放しで喜べず、耐震問題で2次審査・使用する校舎の最低限度の耐震対策予算を計上されていない予算には賛成しかねますので反対致します。

高木 教夫

八木 修

学校再編に関し町長は、方針を出したのだから住民に対して説得する説明会は開くが、住民の意見を聞く場は必要ないという。これでは対立を生むだけで大きな舵取りの間違いを犯している。改めるべきだ。

賛成討論

岡本ひとし

労働者人口や高齢化社会におけるの税収不足の社会において、行財政運営の効率化や専門性を必要とする広域行政が必要不可欠となってきました。更に事業精査し、住民目線に立った行財政運営を実行されることを切望します。

谷 義樹

限られた収入で能勢町の様々な課題を達成していく上で、ベターな予算と判断します。この中では第五次総合計画も検討されますが、住民の参画で住民の声を十分反映した計画になることを期待し、賛成の討論とします。

美谷 芳昭

平成22年度当初予算は、町税が落ち込む中、地方交付税や、国・府の補助金に頼った厳しい財政状況ではありますが、概ね住民の福祉の向上と、地域の活性化に配慮された予算であると解されるため、本予算を賛成とします。